

麻酔科による鎮静 MRI：後ろ向き調査による現状把握と問題点、および今後の課題

1. 研究の対象

2015年5月から研究終了までの期間に当院で麻酔科医による鎮静 MRI を受けられた方

2. 研究目的・方法

後ろ向き観察研究

診療録より以下 3. に記す項目を抽出します。

③④について、実際の割合を算出し、その内容について調査します。

また、③の項目に対して①-③のうち影響を与える可能性のある因子について調査します。

⑤に関しては、問題点の内容を把握し、原因と改善策を検討します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

①基本情報：年齢、性別、体重、疾患名、鎮静・麻酔時の全身状態（ASA-PS、感冒の有無など）

②麻酔関連事項：MRI 室入室・退室時刻、麻酔開始・終了時刻、検査開始・終了時刻、麻酔方法、使用薬剤とその量、検査中のバイタルサイン（脈拍、血圧、経皮的酸素飽和度、呼吸回数）

③検査・麻酔中の特記事項：検査中断・中止の有無、呼吸抑制の有無とその原因、自然気道以外の気道確保方法の使用、吸引・肩枕など気道開通の方法

④検査・麻酔後の状態：有害事象・合併症の有無、麻酔終了から覚醒までのおおよその時間

⑤その他、鎮静・検査に関連する事項としての問題点発生の有無とその内容

⑥検査実施件数、撮影部位

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

地方独立行政法人 大阪市民病院機構 大阪市立総合医療センター

06-6929-1221

麻酔科 前田 知香（研究責任者）